

# 柔軟な労働時間法制の見直し

- **経済成長と、Society5.0 for SDGsの実現**を目指すには、企業はDX等を駆使して社会課題の解決が求められる
- そのためには、イノベーションを担う働き手が、時間と場所にとらわれず自律的に働ける環境を整備し、**エンゲージメントを高めることが重要**
- しかし、厳格な労働時間管理が求められる現行法制は、こうした新しい働き方の実態にそぐわない。いまこそ、**柔軟な労働時間法制の見直しが労使双方から求められている**

経済成長と、Society5.0 for SDGsの実現

エンゲージメントを向上させ、労働生産性を高める  
「働き方改革フェーズII」

働き手

- 多様化する価値観
- 柔軟な働き方を望む声

企業

- Society5.0 for SDGsの実現に向けたDXの活用、社会課題の解決

多様な働き方を可能にする労働法制

- 裁量労働制の対象拡大等
- 柔軟な労働時間法制の見直し
- ジョブ型雇用を支える法制